

第44回(公社)宮城県芸術協会音楽コンクール ピアノ部門 予選

中級A

予選通過者番号

1	2	7	9	10	11	13	17	18	19
20	21	23	27	29					

審査講評: 古賀 望子 審査員長

今日のご自分の演奏はいかがでしたか?ブルグミュラーはタイトルが付いているので、皆さん曲のイメージを持って演奏して下さったと思いますが、メロディーとその他の声部のバランス、強弱などもよく工夫されている方が多かったです。

今後更にレベルアップするために、メロディーの歌い方や音色づくりを勉強してみてください。国語の教科書を音読することがあると思いますが、文章を声に出して読むことと、ピアノでメロディーを奏でることには、共通点がたくさんあります。点や丸、段落替えは、音楽にもありますね。短く素早い息つき、章の終わりのたっぷりとした呼吸。また大切なことばを強調したり、登場人物によっては、声色を変えることもありますね。

音楽も全く同じで、場面転換での呼吸や、大切な音にテヌートをつけたり、和音の種類で音色を変化させることで、音読と同じように、聴き手に音楽の内容が伝わるような演奏になるでしょう。今後も、音楽を通して皆さんが成長されるのを楽しみにしています。

中級B

予選通過者番号

1	3	7	8	9	10	12	13	14	16
17	18	21	22	24	28				

審査講評: 古賀 望子 審査員長

たくさんの素敵な演奏をありがとうございました。3つのタイプの違う課題曲でしたが、それぞれに曲の特徴を捉え、表情豊かな良い演奏が多かったように思いました。

皆さんはご自分の今日演奏した曲が何拍子かすぐに答えられますか?中級Aでもお話しした通り、メロディーの歌い方や音色づくりは勿論ですが、それに加えて「拍子感」もとても大切なポイントになります。何拍子?アウフタクトで始まっている?弱拍で浮かんで強拍に向かう感じ...etc 拍子を感じて演奏することで、適切なテンポ、リズムの感じ方、フレーズのまとまりも見えてくると思います。

もう一つ「和声感」もフレーズや音色の変化と関わる大切なポイントです。和音は内声が一音変わるだけでも全く違った響きになり、また曲の途中で転調することもありますから、その変化によく耳を傾けて演奏する習慣をつけてください。

ピアノは他の楽器と比べて音域も広く、色々な音が作れる楽器です。オーケストラや室内楽を聴いたり、音の響きのイメージを、これからもっともっと膨らませていってください。